

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 リョーサン

コード番号 8140 URL <http://www.ryosan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三松 直人

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経理本部長

(氏名) 関 晴光

TEL 03-3862-2591

四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	38,384	△39.1	334	△84.3	513	△78.5	198	△86.0
21年3月期第1四半期	62,991	—	2,138	—	2,392	—	1,415	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	5.75	—
21年3月期第1四半期	39.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	147,884	115,476	78.0	3,347.11
21年3月期	148,987	116,499	78.1	3,376.78

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 115,362百万円 21年3月期 116,386百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	20.00	—	40.00	60.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	80,000	△39.0	1,100	△76.8	1,300	△76.2	800	△76.0	23.21
連結累計期間	170,000	△23.0	3,400	△44.7	3,800	△47.7	2,200	△43.9	63.83

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	34,500,000株	21年3月期	34,500,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	33,662株	21年3月期	33,358株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	34,466,576株	21年3月期第1四半期	35,428,223株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお業績予想に関する事項は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 全体の概況

当第1四半期連結会計期間(平成21年4～6月)の世界経済は、昨年からの同時不況に対する各国の景気刺激策の効果もあって、実体経済の急激な落ち込みに歯止めがかかり、景気底入れの兆しが見え始めました。また、我々が従事しておりますエレクトロニクス業界は、薄型テレビや白物家電などの民生分野を中心に在庫調整が進む中で生産が持ち直しております。しかしながら、欧米の最終需要の回復が鈍く、依然として厳しい状況が続いております。

このような情勢下で、当社グループは、引き続き第7次中期経営計画の「成長戦略」を実践すると共に、次の成長を支える基盤づくりの一環として「事業モデルの刷新」に着手してまいりました。併せて、事業規模が縮小した場合でも、利益が出せる体質をつくり上げるため、「事業コストの低減」にも取り組んでまいりました。しかしながら、デジタルAV機器やカーオーディオ用システムLSI等の売上減少により、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高は383億84百万円(前年同期比39.1%減)、営業利益3億34百万円(前年同期比84.3%減)、経常利益5億13百万円(前年同期比78.5%減)、四半期純利益1億98百万円(前年同期比86.0%減)と減収減益の結果となりました。

(2) 事業の種類別セグメントの業績概況

イ. 半導体事業

当社グループでは、メモリ、システムLSI、個別半導体の販売並びにシステムLSIの開発を行っております。当第1四半期連結会計期間は、デジタルAV機器用及びカーオーディオ用システムLSI等の売上が減少し、売上高は198億72百万円(前年同期比42.9%減)、営業利益は3億56百万円(前年同期比76.9%減)となりました。

ロ. 電子部品事業

当社グループでは、表示デバイス、電源、機構部品を販売しております。当第1四半期連結会計期間は、DSC用及びPND用液晶ディスプレイ等の売上が減少し、売上高は131億2百万円(前年同期比37.1%減)、営業利益は3億71百万円(前年同期比58.9%減)となりました。

ハ. 電子機器事業

当社グループでは、システム機器、設備機器を販売しております。当第1四半期連結会計期間は、磁気ヘッド製造装置等の売上が減少し、売上高は44億23百万円(前年同期比17.2%減)、営業利益は94百万円(前年同期比39.4%減)となりました。

ニ. 生産事業

当社グループでは、ヒートシンク（半導体素子用放熱器）を生産し、販売しております。当第1四半期連結会計期間は、F A機器用ヒートシンク等の売上が減少し、売上高は9億85百万円(前年同期比51.1%減)、営業利益は60百万円(前年同期比74.8%減)となりました。

(3) 所在地別セグメントの業績概況

イ. 日本

当第1四半期連結会計期間は、大型ディスクアレイ装置用システムL S I及びPND用液晶ディスプレイ等の売上が減少し、売上高は290億57百万円(前年同期比36.7%減)、営業利益は83百万円(前年同期比94.1%減)となりました。

ロ. アジア

当第1四半期連結会計期間は、カーオーディオ用及びデジタルA V機器用システムL S I等の売上が減少し、売上高は109億69百万円(前年同期比46.4%減)、営業利益は1億41百万円(前年同期比74.3%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて11億2百万円減少し、1,478億84百万円となりました。

また、純資産は、前連結会計年度末に比べ10億23百万円減少して1,154億76百万円となり、自己資本比率は78.0%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて60億4百万円増加し、560億7百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が5億31百万円であったことに加え、売上債権が70億95百万円減少し、仕入債務が21億10百万円増加したこと等から、全体で98億17百万円の資金が増加し、前年同期に比べ82億87百万円増加しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出4億67百万円等により4億14百万円の資金が減少し、前年同期に比べ3億53百万円減少しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金返済による支出18億24百万円及び配当金の支払い13億78百万円等があった為、32億46百万円の資金が減少し、前年同期に比べ20億57百万円減少しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

現時点では平成21年5月12日に公表した連結業績予想について、特に変更はありませんが、今後の業績推移を検証の上、適時開示する予定であります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを採用しております。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	53,007	50,003
受取手形及び売掛金	49,031	56,124
有価証券	2,999	—
商品及び製品	13,884	14,688
仕掛品	77	59
原材料及び貯蔵品	194	191
未収入金	2,415	1,737
未収還付法人税等	167	239
繰延税金資産	289	380
その他	363	630
貸倒引当金	△97	△104
流動資産合計	122,334	123,950
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,074	5,131
土地	8,186	8,184
リース資産(純額)	428	463
その他(純額)	1,144	774
有形固定資産合計	14,835	14,554
無形固定資産	594	628
投資その他の資産		
投資有価証券	3,432	2,890
長期預金	3,500	3,500
繰延税金資産	1,889	2,153
その他	2,499	2,529
貸倒引当金	△1,082	△1,101
投資損失引当金	△118	△118
投資その他の資産合計	10,120	9,853
固定資産合計	25,550	25,036
資産合計	147,884	148,987

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,989	21,888
短期借入金	2,940	4,773
リース債務	154	157
未払費用	360	1,024
未払法人税等	126	109
賞与引当金	299	—
その他	1,833	1,738
流動負債合計	29,704	29,691
固定負債		
リース債務	357	394
退職給付引当金	2,062	2,086
その他	283	315
固定負債合計	2,703	2,796
負債合計	32,408	32,488
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,690	17,690
資本剰余金	19,114	19,114
利益剰余金	80,263	81,443
自己株式	△83	△82
株主資本合計	116,984	118,165
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	336	14
繰延ヘッジ損益	0	3
為替換算調整勘定	△1,960	△1,797
評価・換算差額等合計	△1,622	△1,779
少数株主持分	113	113
純資産合計	115,476	116,499
負債純資産合計	147,884	148,987

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	62,991	38,384
売上原価	57,219	35,092
売上総利益	5,771	3,291
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	187	121
役員報酬	123	94
給料及び手当	914	794
賞与	351	225
退職給付費用	115	115
福利厚生費	193	159
減価償却費	143	169
その他	1,604	1,276
販売費及び一般管理費合計	3,633	2,957
営業利益	2,138	334
営業外収益		
受取利息	45	24
受取配当金	133	101
経営指導料	37	27
雑収入	85	79
営業外収益合計	302	232
営業外費用		
支払利息	36	13
為替差損	—	33
雑損失	12	6
営業外費用合計	48	53
経常利益	2,392	513
特別利益		
固定資産売却益	—	1
貸倒引当金戻入額	12	19
特別利益合計	12	21
特別損失		
固定資産除売却損	4	1
たな卸資産評価損	112	—
投資有価証券評価損	3	1
ゴルフ会員権評価損	—	0
特別損失合計	121	3
税金等調整前四半期純利益	2,283	531
法人税、住民税及び事業税	686	196
法人税等調整額	178	136
法人税等合計	865	332
少数株主利益	1	1
四半期純利益	1,415	198

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,283	531
減価償却費	188	204
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12	△23
退職給付引当金の増減額(△は減少)	57	△24
受取利息及び受取配当金	△179	△125
支払利息	36	13
有形固定資産除売却損益(△は益)	4	0
投資有価証券評価損益(△は益)	3	1
売上債権の増減額(△は増加)	4,661	7,095
たな卸資産の増減額(△は増加)	△701	815
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,456	2,110
その他	△629	△785
小計	3,256	9,813
利息及び配当金の受取額	184	114
利息の支払額	△36	△13
法人税等の支払額	△1,876	△97
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,529	9,817
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△61	△467
有形固定資産の売却による収入	—	3
無形固定資産の売却による収入	—	9
貸付金の回収による収入	—	40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61	△414
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	598	△1,824
リース債務の返済による支出	—	△40
自己株式の取得による支出	△368	0
配当金の支払額	△1,418	△1,378
少数株主への配当金の支払額	—	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,188	△3,246
現金及び現金同等物に係る換算差額	66	△151
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	346	6,004
現金及び現金同等物の期首残高	43,077	50,003
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,423	56,007

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

(単位:百万円)

	半導体事業	電子部品事業	電子機器事業	生産事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	34,811	20,822	5,342	2,014	62,991	—	62,991
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	34,811	20,822	5,342	2,014	62,991	—	62,991
営業費用	33,269	19,917	5,186	1,773	60,147	706	60,853
営業利益	1,542	905	155	241	2,844	(706)	2,138

- (注) 1. 事業区分の方法及び各区分に属する主要な商品・製品の名称
- (1) 事業区分の方法は、事業体制(組織)を基本とし、取扱商品、製品区分並びに販売形態等を勘案し、区分しております。
 - (2) 各事業区分の主要な商品・製品の名称
 半導体事業 …… メモリ・システムLSI・個別半導体
 電子部品事業 …… 表示デバイス・電源・機構部品
 電子機器事業 …… システム機器・設備機器
 生産事業 …… ヒートシンク(半導体素子用放熱器)
2. 営業費用のうち、「消去又は全社」の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、706百万円であり、その主なものは、当社の企画・管理及び経理本部に係る費用であります。
3. 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を第1四半期連結累計期間から適用し、評価基準については、低価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。
- その結果、従来の方法によった場合と比較して営業利益が「半導体事業」で97百万円、「電子部品事業」で18百万円、「電子機器事業」で2百万円及び「生産事業」で3百万円それぞれ減少しております。

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位：百万円)

	半導体 事業	電子部品 事業	電子機器 事業	生産事業	計	消去又 は全社	連 結
売上高及び営業損益							
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	19,872	13,102	4,423	985	38,384	—	38,384
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	19,872	13,102	4,423	985	38,384	—	38,384
営 業 費 用	19,516	12,730	4,329	924	37,500	548	38,049
営 業 利 益	356	371	94	60	883	(548)	334

- (注) 1. 事業区分の方法及び各区分に属する主要な商品・製品の名称
- (1) 事業区分の方法は、事業体制（組織）を基本とし、取扱商品、製品区分並びに販売形態等を勘案し、区分しております。
- (2) 各事業区分の主要な商品・製品の名称
- 半導体事業 …… メモリ・システムLSI・個別半導体
- 電子部品事業 …… 表示デバイス・電源・機構部品
- 電子機器事業 …… システム機器・設備機器
- 生産事業 …… ヒートシンク（半導体素子用放熱器）
2. 営業費用のうち、「消去又は全社」の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、548百万円であり、その主なものは、当社の企画・管理及び財務本部に係る費用であります。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

（単位：百万円）

	日 本	ア ジ ア	計	消去又 は 全 社	連 結
売上高及び営業損益					
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	42,574	20,417	62,991	—	62,991
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,331	65	3,396	(3,396)	—
計	45,905	20,482	66,387	(3,396)	62,991
営 業 費 用	44,476	19,929	64,406	(3,552)	60,853
営 業 利 益	1,428	552	1,981	156	2,138

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 アジア …… 香港・シンガポール・台湾・マレーシア等
 3. 営業費用は、各セグメントへ配賦しております。
 4. 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を第1四半期連結累計期間から適用し、評価基準については、低価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。
 その結果、従来の方法によった場合と比較して営業利益が「日本」で1億20百万円、「アジア」で2百万円それぞれ減少しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

（単位：百万円）

	日 本	ア ジ ア	計	消去又 は 全 社	連 結
売上高及び営業損益					
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	27,497	10,886	38,384	—	38,384
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,559	83	1,643	(1,643)	—
計	29,057	10,969	40,027	(1,643)	38,384
営 業 費 用	28,974	10,827	39,802	(1,752)	38,049
営 業 利 益	83	141	225	109	334

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 アジア …… 香港・シンガポール・台湾・中国・マレーシア等
 3. 営業費用は、各セグメントへ配賦しております。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

（単位：百万円）

	アジア	計
海外売上高	24,737	24,737
連結売上高	—	62,991
連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	39.3	39.3

- （注）1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 アジア …… 香港・韓国・中国・台湾等
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高（ただし、連結関係会社の内部売上高を除く）であります。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

（単位：百万円）

	アジア	計
海外売上高	13,325	13,325
連結売上高	—	38,384
連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	34.7	34.7

- （注）1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 アジア …… 香港・中国・台湾等
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高（ただし、連結関係会社の内部売上高を除く）であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。